

新しいフィラリア薬

今年は色々なフィラリア薬が出ました。
本当に種類があるので、どれも甲乙つけがたいのですが、当院では

一番よさそうなマルチタイプ、
従来品（錠剤とお肉タイプ）、
皮膚病対策を兼ねるスポット剤と、

大きく分けて3タイプに絞りました。

マルチタイプはノミ・マダニの予防も兼ねるので、とてもいいのですが、お値段が一番高いです。シャンプーも気にしなくていい薬です。

従来品も引けを取らない国産牛の骨型肉を使っていますが、ノミ・マダニ薬と日にちをずらしたりすると、2度手間がかかります。費用の節約にはプラクティックがお勧めです。ノミ・マダニが6週間もちます。

皮膚の悪い子には、ダニ対策が欠かせませんが、新しいスポット剤にはカイセンダニや微小ダニへの効果が期待できます。ただし、残念ながらマダニに効果がありません。

フィラリア予防薬のタイプ



皮膚病の子にもおススメ

スポット剤より
飲むタイプが
人気上昇中



従来品



サナダムシ対策



フィラリア・ノミ・マダニは押さえたい効能
新しいチュアブル薬は一つで全てカバー

触ってください



これは納得！
肥満度チェック！
BCS6以上だと
寿命を短くする
かもしれません！

お知らせ

4/2 (土)

4/16 (土)

4/19 (火)

狂犬病注射出張のため
夕方まで院長不在

3/25 (金) 18時まで

最新はホームページも
参考にしてください。

ずっと欲しかった動物用解析心電計をやっと手に入れました。今までの心電計よりも感度があり、心臓検査、術前検査などに活躍が期待できます。ネコの隠れ心臓病が多い話もありますので、検証してみようと思っています。



CTとかMRIって？



先日、CTとMRIの勉強会に参加してきました。CTは放射線、MRIは磁場を利用した高度診断装置です。現在のところ、動物医療でもCTやMRIは設備や施設が必要な高度医療です。そして基本的にヒトと違うのが、必ず麻酔が必要になることです。そのため、診断だけで費用もそれなりにかかります。しかし、痛くない検査で、短時間に全身の評価ができるため、脳神経系の痙攣や腫瘍など様々な痙攣に対してとても重要な検査と位置づけられてきています。椎間板ヘルニアの術前診断、以前は分からなかった脳の痙攣などには積極的に使われるようになっていきます。腫瘍などに対しては、3Dの画像処理をすることで、手術も立体的に考えることが可能となります。テレビで3Dプリンターでお医者さんが説明をしている映像を見たことがありますか？ペットでも不可能ではなくなっていますが、費用的には相当額になってしまうのかな??と想像しています。

こんな時は詳しく調べた方がいい、という例を少しあげてみます。

急に歩けなくなった・足がふらついている・歩き方がおかしい・てんかん発作があった・全身のけいれんがあった・親兄弟に脳の異常がある子がいた・がんで手術が必要と言われた・血管の奇形があると言われた・治療をしたけどよくなるらない・認知症かもしれない・など

CT・MRIの検査は提携施設や大学病院をご紹介して受診していただく必要があります。紹介制となりますので、まずは通常通り受診していただく必要があります。

野球も始まりますね。小学生のスタジアム招待券を申し込みました。去年も申し込んだのですが、残念ながら行けませんでした。今年も当たれば行けるか考えてみようかな?と思っています。何かイベントがないと、なかなか重い腰があがらないのがありますね。ラミレス監督でどんな横浜になるのか、ちょっと興味があります。・・・その後当たりましたが、普通の診療日でした・・・

〒235-0045

横浜市磯子区洋光台6丁目2-17-102

045-832-0390

定休日 木曜日全日 と 日祝の午後